

ホタテガイ採苗速報

付着数が非常に多く、目に見えるサイズになっている所では間引きを始めてください

1 ホタテガイの付着状況

5月27日～31日に行った第1回全湾付着稚貝調査結果は、図1および表1のとおりで、ホタテガイ稚貝の平均付着数は、西湾で166,315個/袋、東湾で1,271,144個/袋と、いずれも平年値(過去10年の平均値)西湾68,964個/袋、東湾203,595個/袋よりもかなり多くなっています。

稚貝の平均殻長は、西湾で1.09mm、東湾では1.00mmと、いずれも平均殻長の平年値(それぞれ0.89mm、0.71mm)よりも大きいサイズとなっています。

2 キヌマトイガイ等の付着状況

キヌマトイガイとムラサキイガイの付着数は、全湾平均でそれぞれ336,798個/袋、187,284個/袋と、いずれも平年値(それぞれ59,526個/袋、26,558個/袋)よりもかなり多い状況です。

3 ホタテガイラーバ等の出現状況について

5月29日に陸奥湾9定点でラーバ予備調査を行った結果、ホタテガイラーバの出現数は、西湾平均で287個/m³、東湾平均で629個/m³で、付着直前の260ミクロン以上の割合は西湾平均で56.8%、東湾平均で78.1%でした。

ヒトデのラーバは全湾で出現していません。

4 試験採苗器への付着状況

5月22日～29日の7日間のホタテガイの付着数は、水産総合研究所の久栗坂実験漁場で4,864個/袋でした。

5 海況

各ブイの5月25日～31日の週別平均水温は表2のとおりです。15m層の5月第6半旬平均水温は平館ブイでかなり高め、青森ブイと東湾ブイでやや高めとなっています。

6 今後の見込み

付着数が非常に多い採苗器は、稚貝の成長が悪くなり、稚貝採取が大幅に遅れる可能性があります。**付着数が非常に多く、目に見えるサイズ(殻長1～2mm)になっている所では間引きを始めてください。**

西湾ではウミセミが多く見られています。ウミセミ1個体は、2mm以下のホタテガイ稚貝を1日に200～300個食べてしまうので、**採苗器の中にウミセミが多く、かつホタテガイの付着数が少ない場合は、袋替えをしてください。**

間引きの詳しい状況については、6月12日に臨時付着稚貝調査(間引き後の中層1袋)を実施して**6月15日発行予定の採苗速報第10号に情報を掲載**しますので参考にしてください。

※袋替えおよび間引き作業の注意点

- ・採苗器の状況を十分に把握する(稚貝の付着数は地域、垂下水深、投入時期等によって異なる)。
- ・稚貝へのショックは出来るだけ少なくする(間引きを行う場合は、流網などの付着基質を上下に振るだけにして船べり等に叩き付けない)。
- ・採苗器へ残す稚貝の数を自分の目で確認しながら適正にする(2万個程度になるように)。
- ・作業後は、施設を安定させる。
- ・ヒトデの付着が見られるときは、結び目をよく洗う。

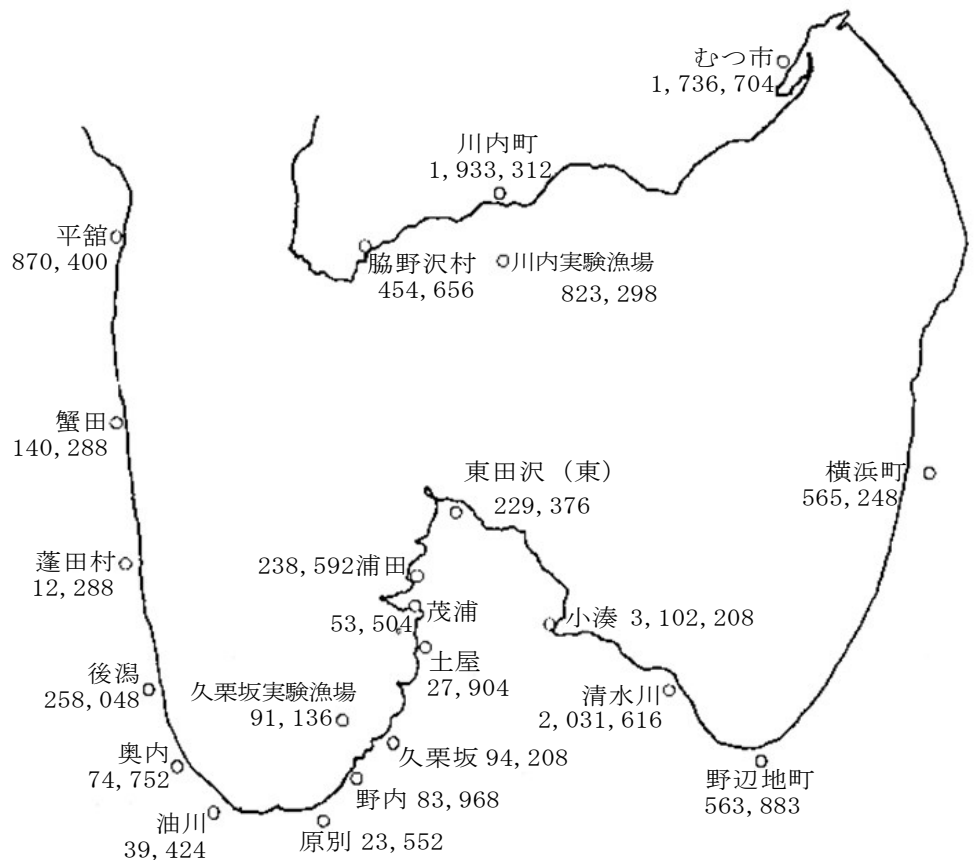


図1 漁協、支所別のホタテガイ付着数(個/袋)

表2 各ブイの1週間(5/25～5/31)の週別平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	11.4～13.5	野辺地ブイ	10.4～14.1
蓬田ブイ	11.9～13.4	東湾ブイ	9.5～13.5
奥内ブイ	10.8～14.7	横浜ブイ	10.6～13.6
青森ブイ	10.3～14.1	浜奥内ブイ	10.4～14.1
		川内ブイ	10.6～13.7

